

# 2022(令和4)年度資金収支予算概要

学校法人 和泉短期大学

収入の部

(単位:千円)

## 資金収支計算書

2022年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の

動きを明らかにした計算書類。

科目	2022年度	2021年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	471,450	491,060	△ 19,610
手数料収入	7,000	7,158	△ 158
寄付金収入	2,000	1,000	1,000
補助金収入	83,567	89,561	△ 5,994
	69	74	△ 5
付随事業・収益事業収入	26,118	21,191	4,927
受取利息・配当金収入	20,123	19,950	173
雑収入	32,242	73,178	△ 40,936
前受金収入	135,920	145,700	△ 9,780
その他の収入	203,629	137,766	65,863
資金収入調整勘定	△ 164,544	△ 239,213	74,669
<b>資金収入合計</b>	<b>817,574</b>	<b>747,425</b>	<b>70,149</b>
前年度繰越支払資金	1,100,600	1,284,569	△ 183,969
<b>収入の部合計</b>	<b>1,918,174</b>	<b>2,031,994</b>	<b>△ 113,820</b>
<b>支出の部</b>			
人件費支出	398,400	464,054	△ 65,654
教育研究経費支出	156,234	168,117	△ 11,883
管理経費支出	111,613	109,440	2,173
施設関係支出	100,450	103,121	△ 2,671
土地	100,000	100,000	0
建物	450	3,121	△ 2,671
設備関係支出	2,027	1,016	1,011
教育研究用機器備品	403	0	403
管理用機器備品	608	0	608
図書	1,016	1,016	0
<b>資産運用支出</b>	<b>91,573</b>	<b>151,267</b>	<b>△ 59,694</b>
金銭の信託購入支出	0	100,000	△ 100,000
第3号基本金引当特定資産	1,573	1,700	△ 127
減価償却引当金繰入支出	52,000	43,000	9,000
退職給与引当特定資産繰入支出	13,000	0	13,000
定期預金繰入支出	25,000	5,000	20,000
積立保険金支出	0	1,567	△ 1,567
その他の支出	78,048	21,207	56,841
奨学貸付金	1,000	1,000	0
前期末未払金	69,048	14,407	54,641
前期末預り金	8,000	5,800	2,200
〔予備費〕	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 25,940	△ 68,428	42,488
<b>資金支出合計</b>	<b>942,405</b>	<b>979,794</b>	<b>△ 37,389</b>
翌年度繰越支払資金	975,769	1,052,200	△ 76,431
<b>支出の部合計</b>	<b>1,918,174</b>	<b>2,031,994</b>	<b>△ 113,820</b>
<b>資金収支差額</b>	<b>△ 124,831</b>	<b>△ 232,369</b>	<b>107,538</b>
年度入学者数	212	221	200)定員
年度	2020年度	2021年度	2022年度
1年生 学生数	212	221	200
2年生 学生数	198	186	203
合計	410	407	403
前年度学生数差異	2	-3	-4
専攻科	15	21	16

1年188名、減免 30名 (△23名)  
2年193名、減免 27名 (15名)  
専攻科 16名 (△5名)

検定料 児童福祉学科 210名  
専攻科 20名

教育環境充実資金、奨学金基金

国 43,000、修学資金 40,567

受託事業収入(委託生22名)他

平均利回り 0.37%

施設設備利用料(保育園地代)等

短大 158名(修学支援30名、委託生12名  
含まず)  
専攻科 15名

前期末前受金(2021年度前期1年生学納金)

2021年度末 現金預金

専任教員22名、専任職員22名他

給付型奨学費57名(△18名)、  
照明器具取替工事、除菌装置設置

第2号基本金組み入れ計画による  
土地取得(前年度から繰延)

1号館 消防設備操作盤

教室プロジェクター設置

スクールバス4台車内カメラ設置

第3号基本金引当特定資産  
果実繰入

減価償却引当特定資産への  
預け替え

退職給与引当特定資産への

和泉奨学貸付金

退職金財団掛金3月他

私学事業団共済掛金他

2021年度末未払金

2022年度末 現金預金

# 2022(令和4)年度 事業活動収支予算概要

(単位:千円)

事業活動収支計算書  
(旧 消費収支計算書)

2022年度における学校法人の事業活動の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類。企業会計の「損益計算書」に相当

年度	科目	2022年度	2021年度	比較増減
		( 73.4% )	( 69.8% )	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	471,450	491,060	△ 19,610
	手数料	7,000	7,158	△ 158
	寄付金収入	2,000	1,000	1,000
	経常費等補助金	83,636	89,635	△ 5,999
	付随事業収入	26,118	21,191	4,927
	雑収入	32,242	73,178	△ 40,936
	教育活動収入計	622,446	683,222	△ 60,776
	人件費	410,525	457,886	△ 47,361
	専任教員給	188,383	196,349	△ 7,966
	兼任教員給	12,668	12,962	△ 294
専任職員給	159,544	174,614	△ 15,070	
兼任職員給	8,165	9,737	△ 1,572	
役員報酬	3,700	3,720	△ 20	
退職給与引当繰入額	37,384	58,192	△ 20,808	
退職金	681	2,312	△ 1,631	
教育研究経費	204,654	218,795	△ 14,141	
(減価償却額)	48,420	50,678	( △ 2,258 )	
管理経費	119,076	116,946	2,130	
(減価償却額)	7,463	7,506	( △ 43 )	
(広報宣伝費)	20,161	21,194	( △ 1,033 )	
教育活動支出計	734,255	793,627	( △ 59,372 )	
教育活動収支差額	( △ 111,809 )	( △ 110,405 )	( △ 1,404 )	
教育活動外収支	受取利息・配当金	20,123	19,950	173
	教育活動外収入計	20,123	19,950	173
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	( 20,123 )	( 19,950 )	( 173 )	
経常収支差額	( △ 91,686 )	( △ 90,455 )	( △ 1,231 )	
特別収支	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	資産処分差額	0	0	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	0	0
特別収支差額	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
[予備費]	30,000	30,000	0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 121,686	△ 120,455	△ 1,231	
基本金組入額合計	△ 2,947	△ 3,536	589	
当年度収支差額	△ 124,633	△ 123,991	△ 642	
前年度繰越収支差額	2,514,528	2,638,519	△ 123,991	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	2,389,895	2,514,528	△ 124,633	
事業活動収入計	642,569	703,172	△ 60,603	
事業活動支出計	764,255	823,627	△ 59,372	
事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)	△ 121,686	△ 120,455	△ 1,231	
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-18.9%	-17.1%		

受託事業(委託生22名)他

教育活動の事業活動収入  
本来の大学の教育活動の収入

専攻科 専任17名、特任2名  
専任1名、特任2名

児童福祉学科 25名(△1名)  
専攻科 5名

専任 21名、法人1名

非常勤職員、看護師、支援者  
学生アルバイト他

研究費、教材費、実験実習費  
奨学費他

広報宣伝費 17.0%  
スクールバス運行経費 28.9%  
(34,385千円)

教育活動収支差額  
教育活動収入が安定して、教育活動支出を賄うことが出来るかが課題

教育活動外収支差額  
受取利息(金利低下は大きな影響)  
経常的な収支のうち財務活動等によるもの。  
教育活動収支を賄えるかが課題

経常収支差額  
教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額

特別収支  
特殊な要因により一時的に発生した臨時的な施設設備

経常収支差額 + 特別収支差額  
= 基本金組入前当年度収支差額  
(旧 帰属収支差額)

支出超過した場合  
減価償却額の範囲内であれば、  
資金ショートはない。

基本金組入額内訳

2,947

第1号基本金組み入れ 1,374

第3号基本金組み入れ 1,573

## 2022 年度予算書概要説明

### 厳しい予算編成

2022 年 3 月 25 日（金）評議員会、理事会において 2022 年度予算が承認されました。

計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。

2022 年度予算計算書類の概要を説明いたします。

**資金収支予算書**の資金収入合計は、817,574 千円、資金支出合計は 942,405 千円です。

資金収支差額は、124,831 千円支出超過になる見込みです。これは、その他の支出として現金預金から減価償却特定資産等として 91,573 千円の預け替えを予定していることが大きな要因になっています。

**事業活動収支予算書**は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の 3 つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3 つの区分の合計額である事業活動収入計は 642,569 千円です。基本金組入額合計は、2,947 千円です。事業活動支出計は、予備費 30,000 千円を含め 764,255 千円です。2022 年度事業活動収支差額は、121,686 千円支出超過になり、大変厳しい予算編成になっています。

### 学校法人和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による 18 歳人口の減少、受験生の 4 年制保育士養成大学志向、私立学校ガバナンス改革等、本学を取り巻く経営環境は年々急速に変化しています。

本学は、經常収入の 73.4% を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題となっています。

2021 年度も 2020 年度の引き続きコロナ禍ではありましたが、3 号館女子トイレ改修工事、小教室ブラインド取替更新工事、小教室の LED 照明器具への取替更新工事、コロナ感染症防止対策として、小教室の除菌装置を設置しました。デジタル化への対応経費として、電子決裁システム、web 出願システムの導入を行いました。また、さらなる遠隔教育の充実を図る為の方策として、和泉クラーク・ホールの LAN 敷設工事、学修成果の可視化システムの導入を行います。

相模原市に移転後 46 年が経過し、校舎等の計画的な修繕計画及び教育の質保証と可視化のための ICT 機材の整備、教育研究活動の維持向上を図るために教育環境の整備計画と経費削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

2022 年 4 月 1 日から伊藤忠彦第 9 代理事長から須田 拓第 10 代理事長に代わりました。

「2022 年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の 5 つの柱です

1. 建学の精神とスクールモットーの堅持を中心として、2. ガバナンスとコンプライアンスの体制強化、3. 地域密着型の短期大学として地域連携活動の強化、4. 教育の質の充実と財務体質の健全化、そして、5. 入学定員の充足に向けての方策により事業展開して参ります。

2020 年度から改正私立学校法の施行に伴い、学校法人和泉短期大学第 2 次中期計画 15 のビジョン」（2020 年度～2024 年度）を策定し、2020 年度、2021 年度に全教職員で PDCA サイクルによる振り返りを行い、理事会、評議員会に進捗状況を報告致しました。

新型コロナウイルス感染拡大により先行き不透明な時代の中で、年々厳しさを増している経営状況下ではありますが、本学の教育環境を整備充実させていくために、2022 年度も引き続き「教育環境充実資金募金」と本学独自の給付型奨学金「愛のいずみ基金奨学金」の募金活動を行います。

第 2 次中期計画により、2022 年度収容定員の変更による学則変更を文部科学省に届け出ました。本学のさらなる発展を目指して「出るを制して、入るを計る」ことを原則とし、日頃から業務改善と経費削減に取り組み、効率的にそして慎重に予算を執行し資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。